

ウスゴマダラエダシャク

2015年10月26日札幌の平地での初積雪の日。澄川森林で札幌市立澄川南小学校3年生2クラス約50名の野外自然学習が行われました。新しい落ち葉が重なる上に1~2cmばかりの積雪があるので斜面では滑りやすく、学童たちの悲鳴がしばしば聞こえていました。目的地の樹木園での学習は対象樹の落葉を特定することでしたが、ナナカマドの葉が見つからないので困りました。数日前の強風で遠くに飛ばされたものと思われました。



シロザクラの幹に止まっているやや大きめのガの名を子供たちに問われましたが、筆者にしても初めて見るガなので答えようもありません。調べてから連絡を約束して、まずはデジカメに映像を納めました。画像の記録は2015年10月26日11時35分でした。

帰宅後の調べでウスゴマダラエダシャクと判明いたしました。チョウ目シャクガ科に分類されています。幼虫の食草はモクレン科の植物なのでここ澄川ではキタコブシが食草です。出現は晩秋とのことなのでまさにこの日は晩秋でした。分布は北海道、本州、四国ようです。



ネットでみつけた展翅した画像を紹介します。左の画像で上が♂で下が♀です。違いは触角です。♂の触角は羽毛状ですが、♀のそれは糸状のようです。右上の澄川の触角は上翅の下に畳まれて見えませんので雌雄は判別出来ません。ガはチョウと違って自然の状態では展翅状に翅を広げてくれることはしてくれません。右上が自然の状態なのです。



シャクガ科に属するガの数は非常に多いのでビックリです。幼虫の形はいわゆるシャクトリムシなのです。エダシャクすなわち右下の画像のように木の枝に擬態するシャクトリムシのことをいいます。

澄川南小学校は澄川森林の最も近くにあるので、澄川森林は学校林のようなものです。澄川中学校、西岡南小学校、西岡中学校などにも活用いただきたく、われわれもそれを意識の片隅に置いて整備しています。歩道の整備も落枝による事故防止を目指して危険枝落としを徹底しています。強風の後は見回りを怠りなくやっておりますので、もっと広い範囲にいつでも安心・安全に入林していただけるように歩道メンテを頑張っています。

